

## 「Genelec」だからこそできること

株式会社ジェネレックジャパン

マーケティングディレクター 浅田 陽介

### 概要

この新型コロナウイルスの危機の中にあつて、Genelecには何ができるのか。本稿では改めて Genelec についてご紹介すると共に、いま Genelec が取り組んでいることについてご紹介いたします。

### ABSTRACT

In a crisis of the current COVID-19 pandemic, what can Genelec does. In this article, we introduce to overview of Genelec products, and what we are working on now.

### 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症による危機は、世界を大きく変えました。しかし、音楽や映画といったエンターテインメントを含む芸術は、このコロナ禍においても人々の支えであることに変わりはなく、これは今後も普遍の価値であることに疑う余地はありません。

フィンランドに本拠を置くスピーカーメーカーであるジェネレックは、こうした人々の活力の「源」へ密接に関わる企業です。1978年の創業以来、一貫してアクティブ・モニターにこだわり続けてきた Genelec の製品は、世界中のスタジオ・エンジニアの皆様、クリエイター／アーティストの皆様から厚くご支持をいただいております。

また Genelec は、スタジオ・モニターにおけるリーディング・カンパニーであるという認識を常に持ち、このコロナ禍でもできることに対して積極的に取り組んでおります。ここでは、企業マインドに関する部分も含めて、Genelec というスピーカーブランドを改めて皆様へご紹介いたします。



フィンランド・イーサルミに本拠を置く、Genelec の本社のエントランスの様子。目の前には広大な湖が広がっている

## 2. プロだけではない Genelec のカバーエリア

スピーカーという製品ジャンルにおいて、ジェネレックがカバーするエリアは非常に広く、大きく3つに分類されます。**1.スタジオ・モニター（プロ・モニタリング）、2.ホーム・オーディオ、3.設備スピーカー（AVインストール）**です。



スタジオ・モニター



ホーム・オーディオ



設備スピーカー

特にここ日本では、「ジェネレックといえばスタジオ・モニター」という印象が強いかと思いますが、本国フィンランドを中心とした欧州では、家庭内でジェネレック製品を使うユーザー様も多くいらっしゃいます。また、設備音響の面でも既に多くの店舗やオフィスへの導入実績を誇り、ここ日本でもこの3月に発表いたしました「Smart IP」にて、設備音響への本格参入を表明いたしました。



欧米を中心に、ジェネレックのアクティブ・スピーカーは、ホーム・オーディオでも親しまれている。写真は、フィンランド・ヘルシンキにあるオーディオショップ「HiFi STUDIO」の様子

このようにジェネレックは、コンテンツが生まれる瞬間からそれを皆様に送り届けるまで、一連のプロセスに密接に関わっております。

### 3. 課題の解決を目指した先進的テクノロジーへの取り組み

Genelec が多方面の皆様にご評価いただいている理由のひとつが、最先端のテクノロジーに対する積極的な取り組みです。その一例として、昨今大きく盛り上がりを見せ始めた「イマーシブ・オーディオ」への取り組みが挙げられます。

今年 2020 年に入ってからというもの、年初にラスベガスにて開催された CES 2020 をはじめ、さまざまな場所で「イマーシブ（没入型）」という言葉が大きなキーワードとなって参りました。とりわけ、音響分野における「イマーシブ・オーディオ」は、前後左右、そして天井方向にスピーカーを設置することによって自然界のサウンドを忠実に再現することが可能とされ、昨今では自動車分野やゲーミング、VR など、今後のエンターテインメントの動きを左右する様々な分野において注目が高まっていることはご周知のとおりです。

実はジェネレックはこのイマーシブの可能性にいち早く取り組み、点音源再生を可能とする同軸ユニットを搭載した「The Ones」シリーズや、どんな環境でも理想の音響空間を生み出すことを可能とした「GLM ソフトウェア」「GLM Kit」などを皆様へご提案し、この次世代のオーディオを手掛ける皆様のお手伝いをして参りました。



同軸ユニットを搭載した「The Ones」シリーズ



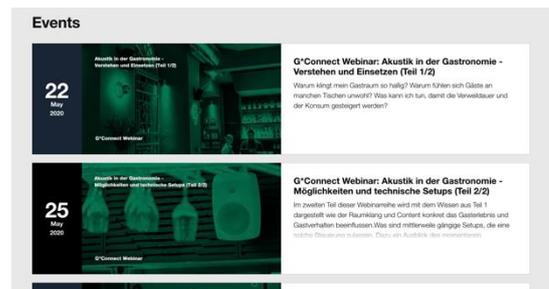
どこでも理想的な音響空間を生み出すことを可能とする「GLM (Genelec Loudspeaker Management) ソフトウェア」と「GLM Kit」

そのサウンドや機能性を高くご評価いただき、いまではさまざまなレコーディング・スタジオやポスト・プロダクションなど、イマーシブ・コンテンツを生み出す数々の現場で Genelec のスピーカーをご愛用いただいております。



Genelec のスピーカーシステムは、イマーシブ・コンテンツの制作の現場でも高い支持を獲得。写真左は㈱カプコンの Dynamic Mixing Stage、写真右は東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパスのスタジオ

また、Genelec では、このイマーシブ・オーディオに関連したセミナー（ウェビナー含む）も積極的に展開し、次世代コンテンツの制作をさまざまな角度からサポートさせていただいております。ただツールを提供するのではなく、ユーザーの皆様とコンタクトを取りながら問題解決へと共に進んでいくというのが、私達のスタンスです。



Genelec では最新技術にまつわるウェビナーも積極的に展開

そもそも Genelec のアクティブ・スピーカーは、さまざまな技術を盛り込んでおり、そのいずれもが先進的なものです。例えば、Genelec のスピーカーの特徴となる、なめらかな曲面を描くアルミダイキャスト製のエンクロージャー。これは「MDE (Minimum Diffraction Enclosure)」という独自のテクノロジーとなります。一般的なスピーカーで発生するようなフロント・バッフルの反射を抑える形状となっているほか、アルミニウムを採用したことで高い剛性を実現できると同時に、小型でも内部容積を確保できること、内蔵するアンプのヒートシンクも兼ねることができると、実にさまざまなメリットをもたらしているテクノロジーです。



アルミニウム製のエンクロージャーの採用により、極めて効率的に駆動力のあるアンプを内蔵することも実現

Genelec のスピーカーには、さまざまな部分で個性あふれるユニークなデザインが採用されておりますが、そのいずれにも必ず、音響特性や性能そのものに直結する理由があります。その技術のすべてをご紹介するにはとても紙数が足りなくなってしまうので、詳細は弊社のウェブサイトをご参照いただけますと幸いです。

[www.genelec.jp/innovative-technologies/](http://www.genelec.jp/innovative-technologies/)

#### 4. Made in Finland の誇り

Genelec は徹底した先進技術の追求と、その結果実現した高品位なサウンドを皆様にお届けしております。すべての設計／生産は、豊かな自然に囲まれたフィンランド・イーサルミの自社工場にて行われています。そのため、この新型コロナウイルス感染症の危機の中にあっても、従業員の安全を最優先としながら生産体制に工夫を凝らすことで、Genelec の製品をお客様へ安定してお届けし続けることができました。



豊かな自然に囲まれた Genelec 本社工場。Genelec の製品はすべてここで開発／設計／生産が行われ、全世界へと出荷されている

Genelec のフィロソフィは、サステナブルな製品開発と環境保護に基づき、そのうえで優れた音響特性に優れた製品を生み出すことです。こうした未来を見据えた製品開発／生産を徹底するためには、生産に関わる全員が一貫したポリシーを共有することが必須です。だからこそ、Genelec はあくまでフィンランドでの生産にこだわり、その結果として高い生産クオリティを維持した高性能なスピーカーを生み出すことを可能としています。

## 5. ホーム・オーディオとしてのポテンシャル

Genelec のスピーカーは、世界中のスタジオやクリエイター／アーティスト達の部屋で「コンテンツが生まれる瞬間」に立ち会っています。つまり、その立ち位置はあくまでニュートラルであり、音におけるひとつの基準（Reference）です。これが、国外で Genelec のスピーカーが、ホーム・オーディオでもご評価いただいている理由のひとつです。

また、搭載するユニットに最適化されたアンプを内蔵するため、結果としてシステムへの投資を抑えられるなどのメリットもあります。欧州では、ストリーミング・ボックス（Spotify や TIDAL などの各種ストリーミングサービスに対応したソース機器）とのペアリングで販売されるケースが多く、世界のプロ達が評価するサウンドでさまざまな音楽を楽しまれているお客様が多くいらっしゃいます。

そして、もうひとつ欠かすことができないのが、世界的なインダストリアル・デザイナーの手によってデザインされた稀有なスピーカーということです。

デザインを担当したのは、フィンランドが誇る世界的デザイナー、ハッリ・コスキネン。ブロック・ランプや京都の MAJA HOTEL KYOTO などを手掛けた同氏ですが、その代表作のひとつに、実は Genelec のスピーカーがあります。リビングに置いても決して主張しすぎることがなく、インテリアと絶妙にマッチするこのデザインも、Genelec の隠れた魅力となっております。



ハッリ・コスキネンのデザインによる Genelec のスピーカーは、インテリアとも絶妙に調和する

また、ここ日本独自の展開として、(株)シンタックスジャパンが取り扱うドイツの RME から発売されている「ADI-2 DAC」とバンドルした、「ADI-2 DAC STUDIO」というパッケージを発売しております。

世界のスタジオへ最先端の音楽制作／再生環境を提供している Genelec と RME がコラボレーションしたこのバンドル・パッケージは、音楽ファンのお部屋へスタジオ・クオリティのサウンドをご提供するシステムとして、発売以来大変ご好評をいただいております。



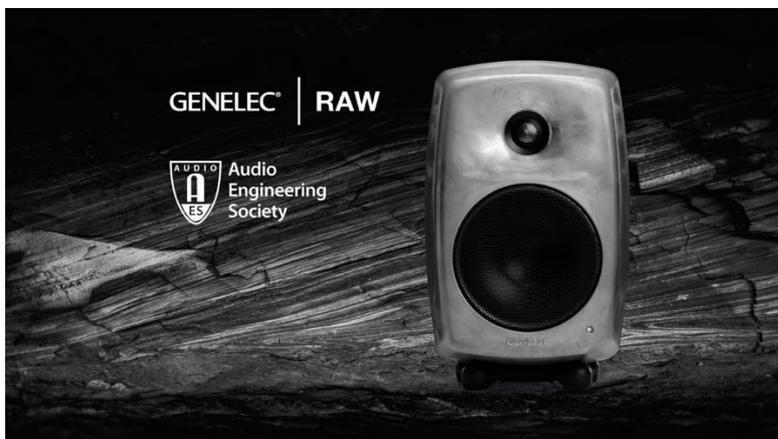
Genelec のホーム・オーディオスピーカー「G」シリーズと、RME の「ADI-2 DAC」によるバンドル・パッケージ「ADI-2 DAC STUDIO」

## 6. スタジオ・モニターのリディング・カンパニーとして

ここまで Genelec の特徴をご紹介して参りましたが、なによりも最大の特徴は企業としての「マインド」です。

この新型コロナウイルス感染症の危機は、さまざまな影響を巻き起こしています。例えば、これまで数々のオーディオ・テクノロジーの研究を推進したほか、多くの技術の標準化に努めた世界的団体、Audio Engineering Society (AES) も、その影響を大きく受けています。こうした現状を受けて、Genelec は新しく発表した RAW フィニッシュ・スピーカー(国内は近日発表予定)の売上の一部を寄付することを決定したほか、最大 10 名まで AES 会員としての資金を提供することを決定しました。

詳細 [www.genelec.jp/references/raw-aes/](http://www.genelec.jp/references/raw-aes/)



新たに発表した RAW フィニッシュ・スピーカーの売上の一部を、新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ AES へ寄付することを決定。また、個人に対して AES 会員として必要になる資金を最大 10 名まで提供する

また、フィンランドでは若者を対象とした GSongLab というオンライン教育プログラムもスタートし、グローバルな展開を行うための検討を重ねております。

詳細(英文) [www.genelec.com/g-songlab/](http://www.genelec.com/g-songlab/)

アーティストやエンジニアはもちろん、リスナーにさらなる喜びを届けるにはどうすべきなのか。優れた製品開発はもちろんのこと、テクノロジーや知識の共有、そして音楽に関わる業界全体に寄与することは、このコロナウイルス感染症の騒動を経ても変わることのない Genelec の姿勢です。私達ジェネレックジャパンも、Genelec の揺るぎないマインドを皆様へきちんとお伝えしながら、より良い音楽体験をひとりでも多くの皆様と共有して参りたいと考えております。

### 執筆者プロフィール



浅田 陽介 (あさだ ようすけ)

オーディオ・ビジュアルの専門媒体を展開する株式会社音元出版にて、『季刊・ネットオーディオ』誌、『季刊・アナログ』誌の編集長、常務執行役員を歴任。2018年には世界中の専門媒体が集まって組織される「Expert Image and Sound Association (EISA)」へ日本初のメンバーとして参加。2020年3月より株式会社ジェネレックジャパンに入社、マーケティングディレクターに就任。現在に至る。